

家庭クラブだより H.30.6.15

編集：家庭クラブ本部 家政科3年 平田・城

6月12日に、家政科3年食物科学類型による第25回目の宅配お菓子を行いました。この取り組みは昨年度の冬休みから始まり、約半年をかけて、無事、地域の高齢者の方々に10種類のお菓子をお届けすることができました。

今年のテーマは「和~なごみ~」です。お菓子を受け取ってくれた方が、心なごみホッとできるひと時を過ごせるようにと、このテーマに決定しました。

第25回 宅配お菓子

1. 豆腐入りオレンジカップケーキ
2. 黒糖ときなこのマドレーヌ
3. 米粉の抹茶カステラ
4. 栗まんじゅう
5. 白餡の桃山
6. 抹茶とおからのパウンドケーキ
7. 黒餡の桃山
8. ひとくちアップルパイ
9. 浮島
10. おからあんドーナツ

10種類のお菓子は、生徒たち一人一人が考えたものから選びました。またそのお菓子を包む布巾着も生徒たちが作りました。



袋詰めの様子

出来上がったお菓子はひとつひとつ丁寧にラッピングをして、容器の中に詰めていきます。

10種類のお菓子が集まり、いよいよ完成が見えてきました。

宅配お菓子本番当日

朝から、食物科学類型20人で一斉につくり始めました。決められた時間内に一種類約70個ずつ作ります。みんな集中して自分のお菓子に向き合いました。



出発式の様子

これから、高齢者の方々に自分たちが作ったお菓子を届けに行きます。みんな緊張の面持ちです。

宅配の様子

実際に高齢者の方のお宅にうかがいお菓子を手渡ししました。

家の前で待っていてくれた方や、この日を楽しみにしてくれていた方へ笑顔と元気、そして、お菓子をお届けすることができました。



長い時間をかけて、この興陽高校の伝統行事を成功させることができ本当に良かったです。

高齢者の方に感謝の言葉だけでなく、ひとつひとつ丁寧に作られた折り紙やふくろうをお返しとしていただきました。本当にこの日を楽しみにしてくださっていたことを改めて実感し、胸がいっぱいになりました。

次は、半年後の宅配弁当！
良いものをお届けできるように
この20人で頑張っていきます。

